

1. 教員および授業の概要

①教員名： 角 能 (Kado Yoku)

②担当科目

博士前期課程：地域開発政策専門講義 4 (福祉社会学)、地域開発政策研究指導 I ~IV

③教員のプロフィール

京都府出身。

東京大学教育学部卒業。

東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。博士 (教育学)

明治学院大学非常勤講師、横浜国立大学大学院非常勤講師、内閣府男女共同参画局勤務等を経て、現在、島根県立大学地域政策学部准教授。

④所属学会

・ 社会政策学会 / 福祉社会学会 / 日本家族社会学会など

⑤研究領域や関心をもっているテーマ

・ 子ども・高齢者のケア / 格差 / つながり / 自由

⑥研究指導方針

・ データや先行研究の細部を正確に読み解く力、先行研究の知見や論理の優れた点と論理の飛躍や課題を読み解く力、先行研究の抽象的な理論を自身の研究テーマやデータの読み解きに的確に応用する力、問い・データ・結論・考察を有機的・論理的につなげる力、自身の研究の問いや結論の社会的・学術的意義を説明する力、それを文章で表現する力、以上の力の育成を重視した指導を行います。

・ まずは自分で考えていただき、適切なタイミングで適宜助言を行います。

⑦指導可能な研究テーマ (あるいは過去 (現在) に指導した研究テーマ)

・ 高齢者・子どものケア

・ 社会 (保障) 政策

2. 研究業績リスト

①主要著書

【単著】

・『ケアをデザインする：準市場時代の自治体・サービス主体・家族』ミネルヴァ書房、2021年。

【共著】

・「高齢者福祉」田多英範編著『厚生労働白書を読む』ミネルヴァ書房、2018年、185-205。
・Womens' attitudes on caring for elderly parents, Tanaka Shigeto (ed), Quantitative Pictures of Contemporary Japanese Families, Tohoku University Press, pp175-192, 2013.

②主要論文

・「男女共同参画政策における『目的』『政府統計』『数値目標』『制度』の関係の考察：雇用・育児役割の公平性・所得の保障に注目して」『総合政策論叢』43号、15-32、2022年（共著）。

・「ターミナルケアにおける家族支援に関する考察：悔いのない看取りに向けた職種間の役割分担に注目して」『尚美学園大学総合政策研究紀要』37号、1-21、2021年（共著）。

・「ターミナル期の多職種連携における福祉職の役割と職種間関係に関する考察」『社会政策』12(2)、125-132、2020年（共著：研究ノート）。

・「ケアマネージャーの出身職種とターミナルケアにおける対医療職コミュニケーションとの関係の考察」『尚美学園大学総合政策研究紀要』36号、1-18、2020年（共著）。

・「終末期介護における職種間コミュニケーションの課題の多面的考察：介護職・看護職・ケアマネージャーへのアンケート調査を踏まえて」『尚美学園大学総合政策研究紀要』34号、35-63、2019年（共著）。

3. 学生に対するメッセージ

・先行研究の正確な理解と自身の研究への応用可能性を考えること、自分が知的に興奮したことの社会的意義、福祉社会学・家族社会学・社会政策などの研究上の意義を具体的かつ理論的に表現すること、自分で集めたデータと根気強く向き合い正確に要約すること、一見地味に見える作業にも楽しさを見出しそれを緻密に遂行すること、このような力を試行錯誤しながら身につけていきましょう。